山本孝二町長再選
2期目町政へ始動

任期満了に伴う、御船町長、御船町議会議員一般選挙は4月24日に、投票と即日開票が行われ町長に山本孝二氏が2期目の当選町議会議員16人が決まり新たなまちづくりがスタートしました。

5日間の選挙戦スタート

御船町長選挙と御船町議会議員一般選挙は、4月19日に告示され、カルチャーセンターで立候補の届出後、5日間の選挙戦が幕を開けました。

町長選は現職の山本孝二氏と、新人で元町議会議員の栗原秀子氏の2人による一騎打ち。町議選は定数16の枠をめぐり、現職10人と新人7人の17人が立候補しました。

候補者は町内各地で、選挙カーや街頭演説を行い、有権者に公約を訴えかけました。


1

2万3000票の意思

投票は4月24日、町内13カ所の投票所で一部の地域を除き、午前7時から午後8時まで行われました。多くの選挙人が入場券片手に、投票を済ませました。

開票はスポーツセンターで午後9時に、約200人の参観人と報道陣が見守るなか始まりました。

投票箱から、町民の意思が込められた約2万3000票が開票台に出されると、候補者ごとに仕分け。票は▽確認係▽計数係▽点検係―などを経由して、最終の計算係で集計作業へと進行します。開始から、町長選が1時間30分、町議選が1時間50分で得票数が確定し、当選者が決定しました。

町長には現職の山本氏が2期目の再選を果たし、町議には現職10人と新人6人を含む16人が当選しました。

なお当日の有権者数は、14767人（男6905人、女7862人）。投票率は、前回の83・69㌽を5・2㌽下回る78・49㌽でした。


2


3


4

1_当選証書を光永信一選挙管理委員長（左）から受け取る山本孝二町長（4月25日）
2_3_4_当選後、初登庁した山本町長を拍手や花束の贈呈で出迎える職員たち。山本町長は4年間を振り返りながら2期目の行政運営を職員に訴えかけた（4月27日）

町長選の開票結果（定数1-2）

当	山本孝二	53	無現②	6,381
	栗原秀子	52	無新	5,052

＊無効投票数＝158
【略歴などの見方】
氏名、年齢、党派、現新別、丸数字は当選回数、得票数

町長・町議選の投票結果

投票区		有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）
1	御船中体育館	4,677	3,507	74.98
2	滝尾小体育館	1,215	947	77.94
3	水越分館	337	285	84.57
4	旧七滝小体育館	675	584	86.52
5	七滝中央小体育館	720	648	90.00
6	田代東部分館	421	366	86.94
7	浅の藪公民館	139	119	85.61
8	間所公民館	57	53	92.98
9	北田代公民館	159	135	84.91
10	中野公民館	77	67	87.01
11	木倉小体育館	1,972	1,611	81.69
12	高木小体育館	1,935	1,437	74.26
13	小坂小体育館	2,383	1,832	76.88
計		14,767	11,591	78.49

4年間の決意新たに

御船町選挙管理委員会（光永信一委員長）は4月25日、町長選で再選した山本氏と、町議選で当選を決めた16人に当選証書を付与しました。

役場で行われた付与式で光永委員長は、「これから4年間、御船町のために頑張ってほしい。若い人たちが御船町に住んでよかったと言えるようなまちづくりに、懸命に励んでいただくようお願いしたい」と述べました。

町長選後の4月27日、山本町長が役場に初登庁すると、職員や町民などが拍手で出迎えました。

山本町長は、「4年間、皆さんと共に町民主体のまちづくりをやってきた。2期目は、さらに進化した行政運営をしなければいけない。職員は目標を持ち、住民サービスのために、自己実現のために、御船に住んでよかったといわれる町をつくってほしい」と訴えました。

新たに4年間を任された山本町政。町民主体のまちづくりに手腕が期待されます。